

# マイナンバー制度の 周知は？



吉原 美智恵 議員

町長

## いろいろな広報を 通じて進める

## マイナンバー 社会保障・税番号制度

国民生活を支える社会的基盤として、  
社会保障・税番号制度を導入します。



マイナンバー



平成28年1月スタート

【吉原】国民一人一人に番号を割り振り、行政手続きに活用する制度が来年1月にスタートする予定である。住民の暮らしが変わる。個人情報の一括管理の危険性などの説明を、住民の立場にたつて周知すべきではないか。

【町長】この制度は、社会保障と税の負担の公平性が図られる制度であり、昨年から広報し、現在は大山チャンネルで国が制作したDVDを

流している。今後、マイナンバーカード発行の手続きとあわせ、詳しい内容を広報紙で知らせる。

【吉原】個人情報の流出、詐欺の防止策など、国だけでなく、町として独自の広報が必要ではないか。

【町長】詐欺防止については、そういうことを考慮しながら、進めていかなければならないと認識している。

## 地域おこし協力隊の これからは？

町長

### 定住してくれることを 期待する

【吉原】地域おこし協力隊とは、都市住民を受け入れ委嘱し、地域活動の支援や農林漁業の応援、活動に従事し、その定住・定着を図る目的で、配置しているものである。

地域活性化への貢献が期待されるが、これからの展望は。

【町長】現在活動中の隊員は9人で、起業・観光・農業それぞれの分野でミッション達成に向け、活発に取り組んでいる。任期終了後も定住し、力になってくれることを期待する。

【吉原】これからの課題は、定住・定着である。3年間の期限が切

れた後もセーフティネットを構築し、地域住民との交流を深める手だてを推し進め、いろいろな機会を広げていく必要があるのではないか。

また、隊員から不安の声を聞いていないか。  
【町長】強い決意をもって来町しており、3年間の経過のなかで、しっかりフォローしていく。不安は聞いていない。



地域おこし協力隊員（中央2人）